

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 国語

科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1、2組：上島、小宮山、龍門) (3、4組：上島、小宮山、龍門) (5、6組：上島、小宮山、龍門) (7組：小宮山、龍門)

使用教科書： (第一学習社「高等学校 標準 現代の国語」)

使用教材： (第一学習社「カラー版 新国語便覧」/浜島書店「応用漢字の1・2トライ」)

科目の目標

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①確認テスト50% ②暗唱・速音読50%	①確認テスト50% ②提出物の内容30% ③授業での達成度20%	学習に取り組む状況・振り返りの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価	
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組			
通年		・日本語で書かれた名文を読み、暗唱及び音読することができる。	暗唱・速音読テスト	○			暗唱・速音読テスト									20	
	4	・国語授業の決まりを理解し、望ましい授業態度を理解することができる。 ・図書室利用による情報収集の方法や資料の活用法について理解し、実践できる。	・授業ガイダンス ・図書室利用ガイダンス			○	ワークシートの記述									2	
1 学期	5	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。	・なりきり作文 ・看图作文 ・サンドイッチ型作文 ・一文一義	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									10	
	6	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考える等工夫することができる。 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集することができる。	・傾聴三動作 ・話し方の工夫(スピーチ)	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									8	
	7	・比喻、例示、言い換え等の修辞や直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことできる。	・比喻 ・具体、抽象			○	○	観察 振り返りシートの記述									6
2 学期	9	・対比に注目し、筆者の主張、根拠の論理構造に留意しながら、筆者の見解を読み取ることができる。	・【夏季休業課題】 「応用漢字の1・2トライ」 ・「「間」の感覚」(評論)	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									10	
	10	・相手や場の状況押さえつつ、目的に沿って的確に案内することができる。	・相手に伝わる案内状を作る	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									6	
	11	・文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報の関係を理解する。	・「日本語は世界をこのように捉える」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									6	
	12	・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫できる。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解できる。	・意見文			○	○	観察 振り返りシートの記述									4
	1	・相手に情報を適切に伝える文章の書き方について理解できる。	・身近な製品の取り扱い説明書の作成 ・実用的な手紙文の作成	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									8	
	2																
	3	・ディベートの形式・方法について理解し、実践できる。 ・テーマについて検討し、自身の立場と主張の根拠を検討する。 ・反対意見を想定しつつ、根拠を提示しながら意見を述べることできる。	ディベート			○	○	観察 振り返りシートの記述								6	

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 国語

科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1、2組：上島、小宮山、龍門) (3、4組：上島、小宮山、龍門) (5、6組：上島、小宮山、龍門) (7組：小宮山、龍門)

使用教科書： (第一学習社 「高等学校 標準 言語文化」)

使用教材： (第一学習社「カラー版 新国語便覧」/ 浜島書店「応用漢字の1・2トライ」)

科目の目標

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①確認テスト50% ②暗唱・速音読50%	①確認テスト50% ②提出物の内容30% ③授業での達成度20%	学習に取り組む状況・振り返りの状況1100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価	
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組			
1学期	通年	・日本語で書かれた名文を読み、暗唱及び音読することができる。	暗唱・速音読テスト	○			暗唱・速音読テスト									20	
	4	・短歌俳句が現代の形になるまでの歴史を学び、それに関わってきた人物について学ぶ。 ・短歌と俳句を味わい、俳句大賞への参加に向けて様々な技法について学ぶ。	・折句 ・川柳 ・短歌、俳句	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									4	
2学期	5																
	6	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「児のそら寝」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									2	
	7	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「絵伝師良秀」	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									3	
	9	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「徒然草」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									5	
	10	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「枕草子」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									5	
	11	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「伊勢物語」(筒井筒・東下り)	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									2	
3学期	12	・漢文の基本的な読み方を理解できる。 ・漢文学習で教え合いや学び合いをすることができる。	・漢文訓読法 ・【冬季休業課題】 「おーいお茶新俳句大賞」へ応募	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									2	
	1	・漢文の基本的な読み方を理解できる。 ・漢文学習で教え合いや学び合いをすることができる。	・漢文訓読法	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									2	
	2	・学んだ訓読法を用いて、「矛盾」を書き下し文にすることができる。 ・故事成語について学び、その成り立ちと意味について理解できる。	・「矛盾」(漢文)	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									4	
	3	・我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。	・百人一首		○	○	観察 振り返りシートの記述									2	

高等学校 令和5年度（二学年用）

教科 国語

科目 現代文演習A

教科： 国語 現代文演習A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： 小宮山
 使用教科書： (LT現代文演習1、LT現代文基本、現代文重要キーワード書き込みドリル)
 使用教材： ()
 科目の目標

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
・現代文を理解するうえで必須となる知識を習得する。 ・現代文の問題に数多く触れ、解法を理解する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。	現代社会を取り巻く諸問題に関する文章を読み、筆者の意見を的確にとらえ、自分の考えを深めたり、視野を広げようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①確認テスト50% ②小テスト50%	①確認テスト50% ②提出物50%	学習に取り組む状況・振り返りの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)						配 当 時 間	評 価
								組	組	組	組	組	組		
1 学 期	4	作中の人物の心情を表す行動、事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○ LT現代文 基本 ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 小テスト								
	5	・評論においては、文章構成に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができる。 ・言葉の言い換えを的確にとらえ、論理を見失わずに追うことができる。	・評論	○	○	○	ワークシートの記述 提出物								
	6	・随筆においては、前後の文章・語句のつながりを意識して読解し、作者の思考の流れを捉えることができる。	・随筆	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	7	現代文を読む上で重要な語彙の理解を深める。	○ 現代文重要キーワード・書き込みドリル ・語句習得	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	9	・小説においては、作中の人物の心情を表す行動や事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○ LT現代文 基本 LT現代文 1 ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	10	・評論においては、文章構成に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができる。 ・言葉の言い換えを的確にとらえ、論理をみいしなわずに追うことができる。	・評論	○	○	○	ワークシートの記述								
	11	・随筆においては、前後の文章・語句のつながりを意識して読解し、作者の思考の流れを捉えることができる。	・随筆	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	12	・現代文を読む上で重要な語彙の理解を深める。	○ 現代文重要キーワード・書き込みドリル ・語句習得	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	1	・小説においては、作中の人物の心情を表す行動、事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○ LT現代文 LT1 ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	2	・評論においては、文章構成に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができる。 ・言葉の言い換えを的確にとらえ、論理をみいしなわずに追うことができる。	・評論	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								
	3	・随筆においては、前後の文章・語句のつながりを意識して読解し、作者の思考の流れを捉えることができる。	・随筆	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入								

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科 国語

科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 飯田、柿原

使用教科書： （第一学習社 「高等学校 標準 言語文化」 ）

使用教材： （第一学習社「カラー版 新国語便覧」 浜島書店「常用漢字の1・2トライ」 ）

科目の目標

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①確認テスト50% ②小テスト50%	①確認テスト40% ②提出物の内容30% ③発表30%	学習に取り組む状況・振り返りの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知 思 態			評価の方法	実績 (実施日)					配 当 時 間	評 価
1 学 期	4 ・ 5 ・ 6	・我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。	百人一首の暗記、確認テスト	○			ワークシートの記述 小テスト							
		・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを学び、正しく音読できる。 ・百人一首の内容を理解し、作者の情報を調べる。	・歴史的仮名遣い。 百人一首の内容と解釈を調べる。	○	○	○	観察 小テスト・確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確認 テスト (百人一首テスト・三十首)							
1 学 期	6 ・ 7	・漢文の基本的な読み方を理解できる。 ・漢文学習で教え合いや学び合いをすることができる ・学んだ訓読法を用いて、「五十歩百歩」を書き下し文にすることができる。 ・故事成語について学び、その成り立ちと意味について理解できる。	・漢文訓読法 ・「五十歩百歩」 (漢文) ・クラス対抗「百人一首」大会	○	○	○	観察 小テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確 認テスト (百人一首テスト・三十首)							
		・小説の表現を、音読を通して味わうことができる。 ・登場人物ごとに行動や心情の変化をとらえることができる。 ・人物の行動について考え、自分の意見や他者の意見を聞き、考えを深めることができる。 ・物語をつくり、説明文と物語の違いを理解することができる。 ・読者のことを考えた文章を書くことができる。	・作文 (リレー小説、キャットチョコレートゲーム、ノベライズ) ・「とんかつ」 (小説)	○	○	○	観察 小テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確 認テスト (百人一首テスト・三十首)							
2 学 期	11	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「児のそら寝」	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確 認テスト (百人一首テスト・三十首)							
		・短歌と俳句を味わい、俳句大賞への参加に向けて様々な技法について学ぶ。	・俳句の表現技法を使い、作品を創作する。	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確 認テスト (百人一首テスト・三十首)							
3 学 期	1 ・ 2	・学んだ訓読法を用いて、「矛盾」を書き下し文にすることができる。 ・故事成語について学び、その成り立ちと意味について理解できる。	・【冬季休業課題】 「おーいお茶新俳句大賞」へ応募 ・「矛盾」 (漢文)	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述							
		・我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。	・クラス対抗「百人一首」大会		○	○	観察 振り返りシートの記述							

教科・科目・講座等	国語科 現代文演習B	2単位	3学年（自由選択）
教科書・副教材等	ニューエイジ 現代文 基礎（第一学習社）	教科担当	柿原

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を繰り返し行うことで、就職・進学に向けて必要な国語力を身につける。 ・SPIや一般常識問題を解くことで、社会で求められている常識としての国語力を知り、それを身につける。
---------	--

学期	月	学習内容	進捗状況	アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
一学期	4	演習		・「演習」形式に馴れ、文章内容を短時間に読み取ることができる。		・さまざまな文章を読み、読解の基礎を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物（ノート、ワークシート） ・発言 	8
	5	演習		・文章読解には「語彙力」や「漢字の知識」「古典に対する造詣」等の幅広い教養が必要であることを実感し、向学心・向上心を持てる。		・筆者の問題提起と、主張、その根拠が的確に捉えられる。		
	6	演習 SPI 国語問題		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンルによって使われる用語に違いがあることに気づき、問題演習を通して問題としてきかれることにどのような特徴があるかを理解し、受験等で役立つ勉強方法を習得できる。 ・SPIの国語問題を解くことで、社会で求められる常識としての学力を知り、それを身につけることができる。 		・指示語、比喩表現等が表現するものを的確に捉えられる。		
	7	演習 一般常識問題		・「漢字の知識」として本校の生徒が苦手としがちな「四字熟語」や「対義語・類義語」等を問題演習作業を通して学び、習得することができる。		・一般的に求められる国語力を身につける。		
二学期	9	演習		・行事や就職活動が本格化するこの時期に気持ちを切り替えて問題演習に打ち込める集中力と自制心を身に付けることができる。		・大学入試や就職小論文、一般常識問題等によく出る分野を数多く読むことで専門用語の知識を増やし、テーマのとらえ方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物（ノート、ワークシート） ・発言 	22
	10	演習		・行事や就職活動が本格化するこの時期に気持ちを切り替えて問題演習に打ち込める集中力と自制心を身に付けることができる。		・文学作品を読み、語彙を豊かに、感性を磨く。		
	11	演習		・問題演習を通して、入試を突破して進学する他校の生徒と自分を比較し、何をやるべきか、最低限どのような知識が必要かを自覚することができる。		・文学作品を読み、語彙を豊かに、感性を磨く。		
	12	演習		・評論文の読解作業を通して、ものごとを論理的に考える思考法を理解し、「感情」を離れ、「理性」で物事を判断することの有用性を実感することができる。		・文学作品を読み、語彙を豊かに、感性を磨く。		
三学期	1月 から 3月 まで	共通テスト問題 演習（評論・小説）		<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストを通して、進学後の学習意欲を高めることができる。 ・本授業を通して身につけた学力を認識し、自分の成長を感じ取ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試や就職小論文、一般常識問題等によく出る分野を数多く読むことで専門用語の知識を増やし、テーマのとらえ方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物（ノート、ワークシート） ・発言 ・語彙が豊かになり、人生や人間、社会に対する視野が広がったか。 	10

※ 評価
A（十分に達成できた）、B（おおむね達成できた）、C（不十分であるが達成できた）、D（達成できなかった）

※ 評価材料と重みづけ
出欠席の状況・授業態度（40%）、課題の取組・提出状況（20%）、発表の様子（20%）、確認テスト（20%）

教科・科目・講座等	国語科 古典入門	2 単位	3 学年(自由選択)
教科書・副教材等	「1日1講 古典探求①古文・漢文」(三省堂編修所 編)	教科担当	上島

学習の到達目標	①古典の世界に触れ、自国の文化に関する理解を深める。 ②古典の世界の人々の考えに触れ、自分の世界の幅を広げる。 ③物語文や百人一首の世界に触れ、今昔の文化の違いを知り親しむ。
---------	---

学期	月	学習内容	進捗状況	アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
一学期	4	① ガイダンス		・本授業で学ぶ内容と、大まかな年間の道筋を理解できる		・古典文学の中で主要な作者について知り、自国の文化についての関心と理解を高める。	関心・意欲・態度	1
	5	②『竹取物語』を読む		・物語を通じて、当時の恋愛観、婚姻形態について学び、貴族の生活や当時の時代背景を理解することができる。 ・「竹取物語」が文学史上どのような意味を持つのかを知る。		・自国の文化を形成してきたものに触れることで、見識と教養を深め、自己の考えを深化させる。	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 読む・書く能力	8
	6 7	③『伊勢物語』を読む		・歌物語というジャンルがどのようなものか知る。 ・歌の修辞法やリズムについて音読しながら理解し味わう。		・古典の独特の音とリズムに触れ、古典文学への興味・関心を高め、学ぶ意欲を持つ。	関心・意欲・態度 読む・書く能力	6
二学期	9	①『平家物語』を読む		・平家物語の文学上の特徴を知る。 ・冒頭文を音読し、和漢混交文のリズムを味わう。 ・武家社会の文化や戦乱の世の情勢を理解し「無常観」を感じることができる。		・自国の文化を形成してきたものに触れることで、見識と教養を深め、自己の考えを深化させる。	関心・意欲・態度 読む・書く能力	2 6
	10	②『源氏物語』を読む		・紫式部の役職、物語の成立背景を知る ・光の君の出自と藤壺への思いを理解する。		・和歌のリズムや修辞法を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く能力	2 5
	11 12	③百人一首		・百人一首の成り立ちや編者を知る。 ・歌ごとの季節や内容の違いを理解する。 ・自分の好きな歌を選び意味を理解する。				5 5
三学期	1	①『枕草子』を読む		・清少納言の出自、政治的背景を理解できる ・清少納言と中宮定子の関係性を理解できる ・清少納言の自然や生活文化に対する感性を知る。 ・自分的「枕草子」と題して、自分の意見を述べるることができる		・日記文学の性質を知り、時代背景を知る。 ・女性日記文学に触れ、当時の社会的な女性の立場を理解する。	関心・意欲・態度 書く能力 話す・聞く能力	3
	2							

*評価：A (十分に達成できた)、B (おおむね達成できた)、C (不十分であるが達成できた)、D (達成できなかった)

評価項目と比重
出欠・態度 (4)
課題 (2)
発表 (2)
暗唱・提出物 (2)

教科・科目・講座等	国語科 国語基礎	2単位	3学年(自由選択)
教科書・副教材等	国語表現ナビ (浜島書店)、自主作成教材 (ワークシート)	教科担当	奥山

学習の到達目標	① 学びの基盤となる「集中して物事に取り組む姿勢」を養う。 ② 実社会で必要となる「話す力」「聞く力」「読む力」「書く力」の基礎を身に付ける。 ③ グループ学習や集団討論等を通し、他者と積極的に関わる姿勢を養う。
---------	--

学期	月	主な学習内容	進捗状況							アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
			1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組					
一学期	4	・ガイダンス								・社会に出た時に必要となる「国語で学ぶ能力」を理解し、授業に臨むことができる。		・国語で学ぶ力は多岐にわたることを理解し、今、習得しようとしている「力」を意識しながら今後の授業に臨めるようにする。	・関心・意欲・態度	14
	5	・他己紹介をしよう								・相手に自分の言いたいことを的確に伝えることができる。 ・相手の話を聞き、相手が伝えたいことを的確に理解することができる。		・他者に話をし、他者の話を聞く中で、自分の思っていることを伝える力、相手の考えていることを受け止める力を養う。合わせて、他者との関わりの中で様々な自分が発見できることを意識させる。	・関心・意欲・態度 ・話す・聞く	
	6	・自己PR文を書こう								・自分の特性を見つめると共に、構成を意識しながら文章をまとめ、適切な話し言葉で発表することができる。		・進路で体験することになる自己PRを事前に行うことで、進路意識の涵養をはかると共に、自分の特性を見つめ、効果的に書き、伝える力を身に付ける。	・関心・意欲・態度 ・書く ・話す・聞く	
	7	・敬語を知ろう								・社会で必要となる敬語の意義を理解し、相手や場面に応じて適切に敬語を使用することができる。		・実生活の中で使用している自身の敬語を見つめ直し、進路に向けて正しい敬語を身に付ける。	・関心・意欲・態度 ・話す・聞く	
二学期	9	・生徒に身近なテーマを題材に小論文を書く。								・自分の立場や論拠を明確にして、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場を考慮し、説得力を意識して文章を書くことができる。		・生徒に身近で自分の立場を明確にしやすいテーマを設定し、小論文を書くことで、小論文の形を固めていく。	・関心・意欲・態度 ・書く	12
	10	・3分間スピーチ								・自分が決めたテーマについて、決められた時間の中で効果的にスピーチすることができる。		・話す立場と聞く立場の両方を体験することで、相手の立場に立った「話し方」「聞き方」を体験的に理解し、実践する。	・関心・意欲・態度 ・話す・聞く	
	11	・新聞記事を読む								・新聞記事を読み、要約したうえで、自分の意見をまとめ、発表することができる。		・新聞記事を教員が複数提示し、その中から一つ記事を選んで要約する力を養う。その記事に関して、自分の意見をまとめ発表することで話す力を高める。	・関心・意欲・態度 ・読む ・話す・聞く	
	12	・社会的なテーマを題材に小論文を書く。								・自分の立場や論拠を明確にして、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力を意識して文章を書くことができる。		・社会的なテーマが題材であっても小論文の形は変わらないことを確認し、自信を持って文章を書く。	・関心・意欲・態度 ・書く	
三学期	1月から3月まで	・ディベート								・ディベートの形式、方法について理解し、実践できる。		・テーマについて検討し、自身の立場と主張の根拠を検討する。 ・反対意見を想定しつつ、根拠を提示しながら意見を述べる。	・関心・意欲・態度 ・読む ・話す・聞く	9

※ 評価：A (十分に達成できた)、B (おおむね達成できた)、C (不十分であるが達成できた)、D (達成できなかった)

※ 評価材料の重みづけ

出欠席の状況・授業態度 (25%)、課題の取組・提出状況 (25%)、発表の様子 (25%)、授業内小テストの結果 (25%)

教科・科目・講座等	国語科 小論文B	2単位	3学年（自由選択）
教科書・副教材等	自主作成教材	教科担当	田村 直輝

学習の到達目標	①「原稿用紙の使い方」や「書き言葉」などの基本を身に付け、文章を書くことができる。 ②さまざまな小論文の型を理解することができる。 ③自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。
---------	---

学期	月	学習内容	進捗状況	アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
一学期	4月 から 7月 まで	・小論文ガイダンス		・小論文の学習に興味と関心を抱いている。		・小論文の学習に興味と関心を持っている。	【評価の観点】 関心・意欲・態度 書く 話す 【項目の重みづけ】 出欠・授業態度 2 課題 3 小論文 5	28
		・原稿用紙の使い方を身に付ける。		・原稿用紙の使い方や書き言葉を理解する。		・短い作文を書き、正しい作文用紙の使い方や書き言葉を身に付ける。		
		・意見と理由を書くことができる。		・小論文の型を踏まえて、文章を書くことができる。 ・頭括型による文章作成の基本的能力を身に付ける。		・身近なテーマを題材に、自分の意見とその理由を書く。		
二学期	9月 から 12月 まで	・生徒にとって身近なテーマを題材に小論文を書く。 ・スピーチをする。		・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・生活に根付いたテーマのスピーチ原稿を考え、発表する。		・身近なテーマを題材に、理由を含む論理的な文章を書く。 ・自分とは異なる様々な立場を理解する。 ・自分の考えや感情を、場面にあった表現で表現する方法を学ぶ。	【評価の観点】 関心・意欲・態度 書く 話す 【項目の重みづけ】 出欠・授業態度 2 課題 3 小論文 5	30
		・新聞、雑誌、インターネットから情報を収集する方法を学ぶ。		・新聞、雑誌、インターネットから、立場の異なる意見を比較して読み取ることができる。		・様々な意見を調べ、自分の意見と比較する。		
		・社会的なテーマを題材に小論文を書く。		・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・社会的なテーマに興味、関心を抱き、論点を理解して自分の意見を文章で書くことができる。		・社会的なテーマが題材であっても、小論文の書き方が共通であることを理解し、文章を書く。		
三学期	1月 から 3月 まで	・課題文を読み取る。		・課題文の的確な読み取りができる。		・課題に沿った文章が書けるように、課題文の要約と読解をする。	【評価の観点】 関心・意欲・態度 書く 話す 【項目の重みづけ】 出欠・授業態度 2 課題 3 小論文 5	20
		・課題文のあるテーマを題材に小論文を書く。		・テーマを踏まえ、自分の立場や論拠を示して、文章を書くことができる。 ・自分の反対の立場も考慮し、説得力のある文章を書くことができる。		・課題文の内容を読み取りテーマを理解するとともに、自分の立場を明確に示して文章を書く。		
		・様々なテーマで小論文を書く。		・テーマを踏まえ、自分の立場や論拠を示して、文章を書くことができる。 ・自分の反対の立場も考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・様々な問題について、それぞれに対応した適切な文章で自分の意見を書くことができる。		・学んできた授業の知識を生かし、明確でわかりやすい文章を書く。		

※ 評価：A（十分に達成できた）、B（おおむね達成できた）、C（不十分であるが達成できた）、D（達成できなかった）

教科・科目・講座等	国語科 現代文A	4単位	3学年 (必修)
教科書・副教材等	大修館書店「現代文A」 第一学習社「カラー版新国語便覧」	教科担当	奥山 未彩、田村 直輝

学習の到達目標	<p>【興味・関心・意欲】 様々なものの見方・考え方に触れ、自己の価値観を育むとともに、社会や他者に興味・関心を持ち他者を尊重する態度を養う。</p> <p>【聞く・話す】 他者の意見を聞いて考えを深めながら、自己の意見を恐れずに他者に伝える姿勢を身につける。</p> <p>【読む】 文学作品の表現を味わいながら、人間の普遍的価値観に触れる。文章を構造的に理解し、物事を順序立てて考える力を身につける。</p> <p>【書く】 社会の諸問題に対して自己の考えを持ち、それを適切に表現する文章力を培う。</p> <p>【知識・理解】 社会に出るに当たり、必要となる語彙力・漢字力・一般常識を身につける。</p> <p>【進路学習との関連】 最終学年として進路を決めるに当たり、自己のアイデンティティや信念を確立することの大切さを実感する。</p>
---------	---

学期	月	学習内容	進捗状況							アキルスタンダード (学習活動のめやす)	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間	
			1	2	3	4	5	6	7						
一学期	4	①現代文A ガイダンス 随想 『どんな人になり たかったか?』								<ul style="list-style-type: none"> 国語の授業の決まりを理解し、望ましい授業態度を理解することができる。 【読解】 筆者のものの見方・感じ方を理解し、自分に置き換えて考えものの見方、考え方を広げる。 自己の考え方の狭さを理解し、学ぶことの大切さを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言の方法や質問の仕方を学び、正しい学ぶ姿勢を身に付ける。 随想的な文章の内容や表現の特色を学び、今後の評論や文学作品の読解に活かす。 日本人の美意識に関心を持ち、自ら表現できるようにする。 文学的表現と世界観を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート、ワークシート、常用漢字の演習テキスト、漢字小テスト） 発言。 確認テスト 	1		
	5								<ul style="list-style-type: none"> 対照的、比較的な論述の仕方をとらえ、身近なものを比較して考える。(話し合い活動/作文、等) 	8					
	6	評論『実体の美と状況の美』								<ul style="list-style-type: none"> 【暗唱】 詩のテキストを鑑賞する。 名文を暗唱する。 			8		
7	詩『小景異情』									3					
	7	論文 原稿用紙の使い方 敬語								<ul style="list-style-type: none"> 【書くこと】 文章の内容や表現の特色を調べ、発表したり論文にまとめたりする。 原稿用紙の使い方を理解し、適切に使えるようになる。 【発展的学習】 敬語の基礎を学び、場面に応じた正しい敬語を扱えるようにする。(常語と敬語/尊敬・謙譲・丁寧/話し言葉・書き言葉・若者言葉/ロールプレイによる実践、等) 日常の言葉づかみやことばを通してのコミュニケーションの難しさ・大切さを実感する。(話し合い活動、等) 敬語を正しく使って自己PR文や履歴書を書く方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に詳しく自らの体験が描けるようになる 原稿用紙のルールを覚え、適切に使えるようになる 自分の考えを主張する際に、具体的事例を挙げることの効果を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート、ワークシート、常用漢字の演習テキスト、漢字小テスト） 発言。 	6		
	8	漢字テスト（通年実施、年間20回）							<ul style="list-style-type: none"> 高い頻度で使用される常用漢字を読み、書くことができる。 	2					
二学期	9	小説『その夜のコンヤック』								<ul style="list-style-type: none"> 【読解】 作品の主題を捉えながら自己の内面と向き合い、時代や文化の枠を超えて個々人に共通する人間の普遍的事実を目を向ける。 人物の心情をとらえ、描かれた状況を把握する。 【発展的学習】 表現上の効果について話し合い、短編小説の構造を理解し、読み味わう。 状況と人間のかかわりについて、思索を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落内容を整理し、内容を的確に読み取る。 小説の構成・登場人物・人物像などをとらえる。 小説を読む楽しさを実感し、読書の幅を自ら広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート、ワークシート・常用漢字の演習テキスト・漢字小テスト） 発言 確認テスト 	16		
	10									6					
	11	評論『家族化するペット』								<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見を的確にとらえ、自分の考えを深めることができる。 現代社会でのバーチャルなものの役割を理解し、身近な例を挙げて意見交換をする。 ペットが家族化している原因について理解し、周りの考えを聞き、自らの考えを深めることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 社会的な傾向や変化に目を向け、どのような時代をいきているかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート、ワークシート） 発言 確認テスト 	10
	12	小説『青が消える (Losing Blue)』								<ul style="list-style-type: none"> 【読解】 登場人物のものの見方・考え方に触れ、自己の価値観を育む。 作品の場面展開をおさえ、主人公の心情をとらえる。 【発展的学習】 「青が消える」ということが象徴していることを話し合う。(話し合い活動、等) 比喩表現の面白さを学び、自己の表現活動につなげる。(作文、等) 			<ul style="list-style-type: none"> 舞台や人物など小説のすべての設定を有機的に結び付けて読む。 小説の象徴的なテーマを読む力を身につける。 	4	
1										6					
三学期		評論『情報の力関係』								<ul style="list-style-type: none"> 卒業を間近に控えたこの時期にこの評論を読むことで、社会に出る上で必要な「勤労観」「労働観」をもつことの意味を自覚し、人生について希望を持ってプランニングができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会で生活していくために、言語や情報の在り方を明確に理解する。 随想的な評論を読み、具体性と論理性とのかかわりを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（ノート、ワークシート） 発言 確認テスト 	4		
		評論『幸せの分量』							6						

